

【学校経営方針】

1 学校教育目標

2 重点目標

3 学校経営方針

- (1) 「自立 協働」の基本理念は、自ら考え行動できる。ともに生きる力を示す。
- (2) 他者を尊重する「認め、助け合う」温かな学校づくりを実現する。
- (3) 「基礎基本」を凡事徹底。「やりぬく」力を育む「自分ごとで学び合う授業」を行う。
- (4) 家庭や地域と連携した「信頼される学校づくり」をする。
- (5) 「安全安心、美しい教育環境」で、「働きやすい職場」を構築する。

4 具体的な取組 <重点とする3つ力の育成> ～横地っ子のウェルビーイングを目指して～

(1) 基礎・基本の力

- ア 基本的な生活習慣の確立
→早寝・早起き・朝ご飯、あいさつ
もくもく清掃 等
- イ 学習規律の確立
→学習の構え・「話し方、聞き方」の基本の定着
※ア・イ共に横小スタンダードの共通理解を図る。

(2) やりぬく力

- ア 自ら学びに向かう力の育成
→横地っ子検定、よこしょう学習
のびる子チェック 等
- イ 目標に向けてやり抜く力の育成
→スポチャレ、ドッジボールラリー 等
- ウ 目標を達成する力の育成
→部会で、推奨する活動（健康チャレンジ・読書 等）
- エ 家庭学習に自ら取り組める力の育成
→めあて学習、学習カード 等

(3) 認め・助け合う力

- ア 多様な意見・価値観に対して、「他者を尊重する言葉遣い」ができる子供の育成
- イ 授業や体験的活動を通して、他者の考えを尊重し「対話で解決できる態度」の育成
- ウ 違う意見の相手と「折り合いをつけて解決」できるヒューマンスキルの育成
- エ 自分が受けたことに「ありがとう」の一言が自然に言える子供の育成

自立 協働 本気でチャレンジ みんなで笑顔



ほかほか言葉・態度の推奨、静岡県版 SEL を活用した人間関係づくり、道徳の授業の充実

オ 委員会活動を通して、自分たちで学校を良くする「自治力」の育成

カ 縦割り活動を通して、「上級生を敬い、下級生をいたわる」

正しい人間関係づくり

キ リーダーとフォロワーの心得である「感謝と協力する姿勢」の育成

ク ゲストティーチャー、SG、各種支援員等への「感謝の念」を育む。

特別活動の充実
道徳の授業の充実
人材活用等機会の創出

5 成果指標

<重点> 学校が楽しい。

<基礎基本の力> 地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えている。

<やり抜く力> 目標に向かってやり抜く。

<認め・助け合う力>

(1)みんなで何かをするのは楽しい。

(2)学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができている。

全て
90%以上

6 「学びの庭」構想に係る取組

- 1 横地保育園・小笠高校・内田小学校との交流活動
- 2 地域人材や地域の材を生かした授業の工夫（主として生活科・総合的な学習の時間）
- 3 「横地っ子サポーター」の募集と運用で地域や保護者を巻き込んだ教育活動の展開

7 勤務環境改善

～教職員のウェルビーイングを目指して～ 業務量管理&健康確保措置

- ・定時退庁日を設定し、計画的に仕事を進めるリズム作りをする。
- ・横地っ子サポーターやSSS等を活用し、業務の精選を図る。
- ・校務のDX化を進め、効率化を図る。



風通しのよい職場環境を実現するために、ゆとりを創出する。

8 校内研修

